



東京都  
省エネ・再エネ住宅  
推進プラットフォーム



# 令和5年度 第3回連絡協議会

令和5年11月10日

# 本日の次第（案）

---

## 1 都の計画等紹介

- 表彰制度（東京エコビルダースアワード）
- 既存マンションにおける太陽光発電設備導入等

## 2 団体の活動紹介

- 会員団体一覧
- NPO法人 建築技術支援協会

## 3 都の補助金紹介

- 災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業
- 東京都既存マンション省エネ・再エネ促進事業
- 東京都既存住宅省エネ改修促進事業
- 東京都省エネ再エネ普及促進事業補助金

## 4 事務局からの連絡

- プラットフォーム活動スケジュール（イベント、分科会）
- ジャパンホーム&ビルディングショーへの出展
- プラットフォームホームページ更新

# 1. 都の計画等

説明内容
○表彰制度（東京エコビルダーズアワード）
○既存マンションにおける太陽光発電設備導入等

建築物環境報告書制度の開始に先駆け、環境性能の高い建築物の普及に取り組む意欲的な事業者を対象に表彰を実施

## 東京エコビルダーズアワードの概要

- **応募対象者**：都内で**令和5年8～10月**の間に建築確認済証が交付された新築建物の実績がある事業者  
(延床面積2,000㎡未満の規格建築物)
- **募集期間**：令和5年**11月1日(水)～11月30日(木)**
- **賞の種類**

※都内における年間供給で3区分  
(①20,000㎡～、②5,000～20,000㎡、③～5,000㎡)

種別	部門	評価の概要	表彰対象企業
ハイスタンダード賞	①断熱・省エネ ②PV設置	報告書制度で定める基準を先行して達成	基準を満たす <b>全事業者</b>
ソーラーチャレンジ賞	—	前年度比較でPV設置率が一定水準以上増加	一定水準を満たす <b>全事業者</b>
リーディングカンパニー賞	①断熱・省エネ ②PV設置	1.報告書制度で定める基準を達成 2.環境性能の高い住宅等の普及に向けた先進的な取組等	部門・区分(※)ごとに <b>上位3社</b> 程度(全18社程度)

- **表彰式**：○令和6年2月中旬頃に開催予定
  - リーディングカンパニー賞の受賞者には、**知事から賞状の贈呈、自社の取組をPRする機会を設定**
  - 受賞者の取組内容を取り入れたパネルディスカッションの実施
  - 表彰式の様子を**アーカイブ配信 (配信期間1年間)**
  - 受賞者はHPによる公表に加え、**全国紙に掲載**予定
  - 全受賞者に**名刺やHP等で使用できるロゴ**を作成予定
- **その他**：応募書類や審査方法等の詳細は下記HP参照

[https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/solar\\_portal/ecoaward.html](https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/climate/solar_portal/ecoaward.html)

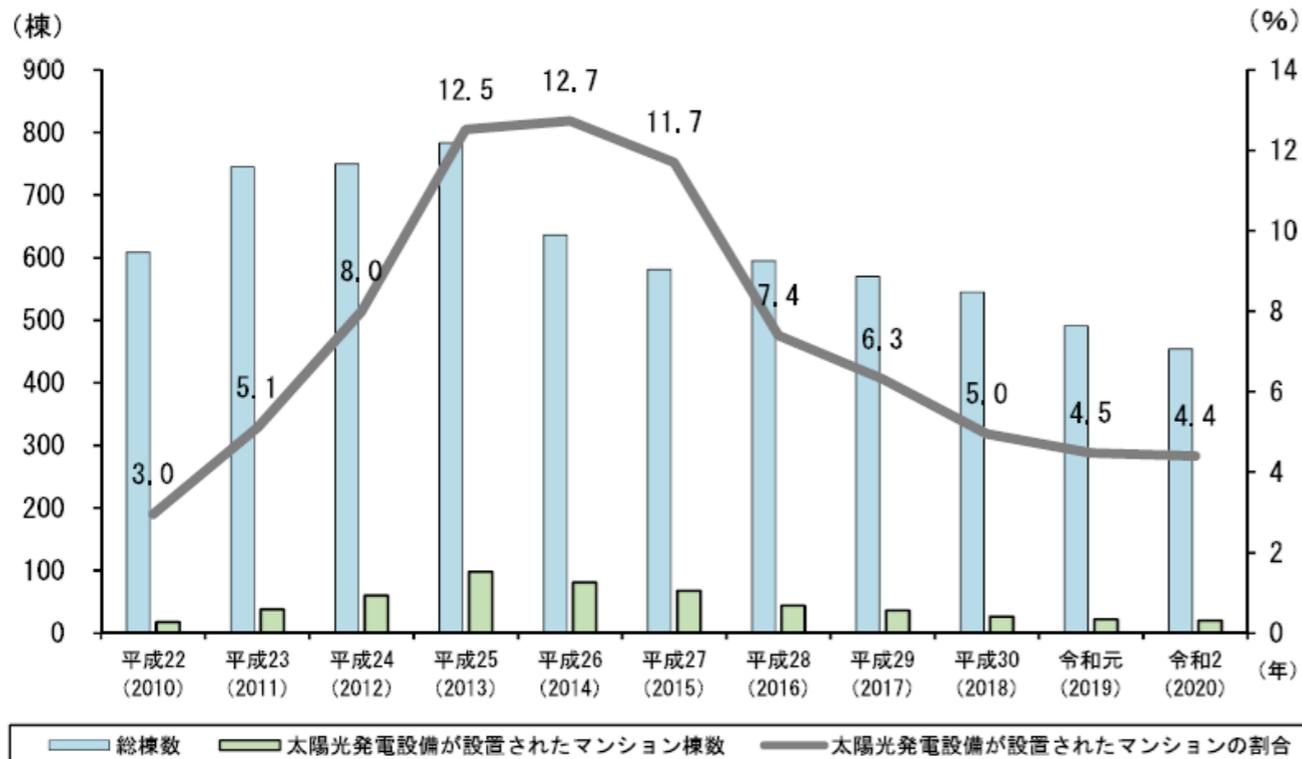
マンションにおける太陽光発電設備導入等に向け、以下の取組を実施

□ 太陽光発電設備が設置されたマンションの分譲実績

2010年から増加傾向であったが、2014年の12.7%（棟数ベース）を境に低下

【参考】 既存マンションへの太陽光発電設備の設置 1.1%  
（平成30年住宅・土地統計調査）

＜太陽光発電設備が設置されたマンションの分譲実績＞



出典：東京マンション管理・再生促進計画  
（令和4年3月）

検討の進捗に応じた支援

広く管理組合等への普及啓発  
【省エネ・再エネガイドブック】  
【太陽光発電導入ガイド】

省エネや再エネ導入について、  
少し話が聞いてみたい  
【省エネ・再エネアドバイザー制度】

うちのマンションでコスト面で採算があうか、  
具体的に検討してみよう  
【既存マンション省エネ・再エネ促進事業】

補助を活用してお得に工事を実施しよう  
【環境局補助金など】

## 省エネ・再エネガイドブック



個々の設備の省エネ効果等を分かりやすく解説  
→今年度改定予定

## 太陽光発電導入ガイド



導入事例、導入モデルによる試算結果、相談先等を掲載

### 導入マンションの御紹介

#### パルプラザ小松川 2020年導入

- 補助金を活用し初期費用を軽減
- 太陽光発電等の導入と照明のLED化により電気料金を年間約160万円削減



■管理組合理事長様のお話  
大規模修繕の機会に、補助金を活用した初期費用と回収期間等を確認し、導入を決めました。



- 建物規模  
2棟 84戸
- 太陽光発電等の容量  
太陽光発電:50kW  
蓄電池:48kWh

### 分譲マンション

- 共用部電力消費に応じた太陽光発電と蓄電池を設置



- 導入モデル  
9階建て 60戸  
太陽光発電(8kW)  
蓄電池(16kWh)設置  
共用部電力に供給

都補助金 (R5.4現在)	初期費用 170万円 (1世帯当たり3万円弱)
<b>630万円</b>	
総費用800万円	

年間約21万円電気代を節約  
(1世帯当たり約4千円)

初期費用を約8年で回収可能  
※電力使用状況等により結果は異なります。

## 省エネ・再エネアドバイザー派遣

**マンション管理アドバイザー B-8コース**  
**省エネ・再エネアドバイザー派遣のご案内**

昨今、社会情勢等の目まぐるしい変化により、電力供給の厳しい見通しが示されています。マンションの共用部分についても、省エネルギー化を進めていただくため、個別に省エネルギー化等をご提案をする「省エネ・再エネアドバイザー」を派遣いたします。  
B-8①・②コース同時申込みの場合、**派遣料が無料**です。  
ぜひこの機会にマンションの省エネ・再エネを考えてみませんか。

**B-8コース**

**対象者**：マンション管理組合、区分所有者、賃貸マンションの所有者等

<b>B-8①コース</b>	建築及び電気のアドバイザー2名がマンションを訪問し、図面・修繕履歴や現地を調査し、アドバイスを行います。
<b>B-8②コース</b>	①の調査結果を踏まえた「提案書」を作成、ご説明し、省エネ化・再エネ化の実施に向けたアドバイスをします。

派遣料は各コース 50,600円（税込）  
なお、B-8①・②を同時に申し込んだ場合は、都の助成により無料になります。  
無料派遣の実施対象は、40管理組合等を予定しています。

**お申込みや詳細についてはこちら**

公益財団法人 東京都防災・建築まちづくりセンター まちづくり推進課  
☎ **03-5989-1453**  
メール：suishinka@tokyo-machidukuri.jp

発行 東京都住宅政策本部民間住宅部マンション課  
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03-5320-5004

**対象：**  
分譲マンション管理組合、区分所有者、賃貸マンションの所有者

**内容：**  
アドバイザーによる図面、修繕履歴、現地調査、提案書の作成等

**派遣料：**  
無料（数に限りあり）

## 既存マンション省エネ・再エネ促進事業

分譲マンション管理組合、賃貸マンション所有者の皆様へ  
**マンションの省エネ・再エネを検討してみませんか？**

省エネ・再エネは、健康維持や光熱費の節約となり、資産価値の向上につながります。大規模修繕は省エネ・再エネを検討する絶好の機会です。

**再エネ**  
太陽光発電・蓄電池の導入等

**省エネ**  
給水方式・ポンプの変更等  
サッシ・ガラスの変更等  
外断熱の施工等  
エレベーターのリニューアル等  
照明器具のLED化等

**再エネ**  
電気自動車充電設備の導入等  
太陽光発電電力等の利用により再エネになります。

マンションの省エネ・再エネの**初期費用と効果が分かる**検討に補助※を行います。  
※補助率100% 補助上限額内であれば費用負担はありません。  
※専門家に検討を委託する費用の補助となります。

**合意形成に是非お役立てください**  
事業名：東京都既存マンション省エネ・再エネ促進事業  
予算がなくなり次第終了します。

東京都住宅政策本部 HTT  
詳細は裏面を御覧ください

**対象：**  
分譲マンション管理組合、賃貸マンションの所有者

**内容：**  
太陽光発電設備等導入の初期費用や節約できる電気代等の効果を示す検討を  
専門家に委託する費用を補助

**費用：**  
補助率 10/10  
上限額 37万円

→詳細はP18参照

## 【環境局補助金・・・第1回連絡協議会資料再掲】

太陽光発電システム ※太陽光のみの設置でも対象	新築	既存	
	12万円/kW（上限36万円、3.6kW以下） 10万円/kW（3.6kW超50kW未満）	15万円/kW（上限36万円、3.75kW以下） 12万円/kW（3.75kW超50kW未満）	
太陽光 上乘せ補助	新築・既存		既存のみ
	機能性PV：5万円(又は2万円)/kW		陸屋根戸建住宅への架台設置経費：上限10万円/kW
	陸屋根集合住宅への架台設置経費：上限20万円/kW		陸屋根住宅への防水工事経費：上限18万円/kW

太陽光以外の補助メニュー		補助率	補助額（最大）
①	高断熱窓・高断熱ドアへの断熱改修	既存	1 / 3 116万円
②	<u>壁/床等の断熱改修</u>	<u>既存</u>	<u>1 / 3</u> <u>24万円</u>
③	蓄電池の設置	新築・既存	3 / 4 15万円/kWh (5kWh未満の場合 19万円/kWh)
④	V2Hの設置 (太陽光、V2H及びEV・PHVが揃う場合は、補助率10/10が適用)	新築・既存	1 / 2 50万円
			10 / 10 100万円
⑤	太陽熱利用システムの設置	新築・既存	1 / 2 55万円
⑥	地中熱利用システムの設置	新築・既存	3 / 5 180万円
⑦	<u>エコキュートの設置</u>	<u>新築・既存</u>	<u>1 / 3</u> <u>22万円</u>
⑧	(太陽光) パワーコンディショナの更新 (太陽熱) 補助熱源機 (地中熱) ヒートポンプ	既存	1 / 2 (太陽光、太陽熱) 10万円/台 (地中熱) 27.5万円/台

詳細はこちら



## 2 団体の活動等紹介

### 説明内容・団体

- 会員団体一覧（49団体・令和5年11月時点）
- NPO法人 建築技術支援協会

TokyoTokyo	団体名 (50音順)	区分	団体名 (50音順)
<b>住宅事業者団体</b>	(一社) 住宅生産団体連合会	<b>省エネ・再エネ 設備団体</b>	(一社) ソーラーシステム振興協会
	(一社) ZEH推進協議会		(一社) 太陽光発電協会
	(一社) 全国住宅産業協会		断熱建材協議会
	(一社) 日本ツーバイフォー建築協会		NPO法人 地中熱利用促進協会
	(一社) 日本木造住宅産業協会		NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク
	(一社) 日本木造分譲住宅協会 ※今年度登録		(公財) 東京都環境公社東京都地球温暖化防止活動推進センター
	(一社) 日本モバイル建築協会 ※今年度登録 (今回初参加)		(一社) 日本建材・住宅設備産業協会
	(一社) 不動産協会		(一社) 日本サッシ協会
	(一社) プレハブ建築協会		NPO法人 日本外断熱協会
	(一社) リビングアメニティ協会		(一社) 発泡プラスチック建築技術協会
<b>リフォーム 事業者団体</b>	(一社) 住活協リフォーム	<b>地域工務店 団体</b>	(一社) JBN・全国工務店協会
	(一社) 住生活リフォーム推進協会		全建総連 東京都連合会
	(一社) 住宅リフォーム推進協議会		東京都地域住宅生産者協議会
	(一社) ステキ信頼リフォーム推進協会		(一社) 東京都中小建設業協会
	(一社) 全国古民家再生協会 東京第一支部		(一社) 全日本建築士会
	(公財) 東京都防災・建築まちづくりセンター		(公社) 全日本不動産協会 東京都本部
	日本木造住宅耐震補強事業者協同組合		NPO法人 耐震総合安全機構
	(一社) ベターライフリフォーム協会		(一社) 東京都建築士事務所協会
	(一社) マンション計画修繕施工協会		(一社) 東京都設備設計事務所協会
	(一社) 木造住宅塗装リフォーム協会		(公社) 東京都宅地建物取引業協会
<b>省エネ・再エネ 設備団体</b>	エコ窓普及促進会	<b>不動産・建築士 団体</b>	(公財) 日本賃貸住宅管理協会
	(一社) 環境共生住宅推進協議会		(一社) 不動産流通経営協会
	(一社) 建築開口部協会		NPO法人 建築技術支援協会 ※今年度登録 10

# 別紙 1

分類	説明内容	説明部局
新築住宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木材利用ポイント事業について（多摩産材等活用）</li> <li>○ 東京ゼロエミ住宅導入促進事業</li> <li>○ 建築物環境報告書制度「設計・施工技術向上支援事業」</li> <li>○ 建築物環境報告書制度「環境性能向上支援事業」</li> <li>○ 建築物環境報告書制度「特定供給事業者再エネ設備等支援事業」</li> <li>○ 優れた機能性を有する太陽光発電システムの支援</li> <li>○ 太陽光パネル付きゼロエミ住宅導入促進税制</li> </ul>	
既存住宅改修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木材利用ポイント事業について（多摩産材等活用）【再掲】</li> <li>○ <b>災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業</b> <b>進捗</b></li> <li>○ 優れた機能性を有する太陽光発電システムの支援【再掲】</li> <li>○ <b>既存マンション省エネ再エネ促進事業</b> <b>進捗</b></li> <li>○ <b>東京都既存住宅省エネ改修促進事業</b> <b>進捗</b></li> <li>○ 東京都戸建住宅等耐震化促進事業</li> <li>○ 構造木質化に係る大臣認定取得費用補助金</li> <li>○ 構造木質化の推進に係るスプリンクラー設備等設置補助金</li> </ul>	<p>環境局</p> <p>住宅政策本部</p>
設備関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 太陽光発電設備に係る専門電話相談窓口について</li> <li>○ 太陽光パネルの高度循環利用の推進</li> <li>○ 住宅用太陽光発電初期費用ゼロ促進の増強事業</li> <li>○ 太陽光発電及び蓄電池グループ購入促進事業</li> <li>○ 集合住宅における再エネ電気導入先行実装事業</li> <li>○ 充電設備導入促進事業</li> <li>○ マンション充電設備普及促進に向けた連携協議会の運営</li> <li>○ 災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業【再掲】</li> </ul>	
住宅市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 宅地開発無電柱化推進事業</li> </ul>	
家電の買い替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭のゼロエミッション行動推進事業（東京ゼロエミポイント）</li> <li>○ 家庭の節電マネジメント（デマンドレスポンス）事業</li> </ul>	
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>東京都省エネ再エネ普及促進事業補助金</b> <b>進捗</b></li> </ul>	住宅政策本部

令和4年度に寄せられた要望等を踏まえ、今年度から、「①事前申込額（概算値）の公開」、「②審査状況の見える化」を実施し、補助金申請の利便性を向上

## ① 事前申込額（概算値）の公開

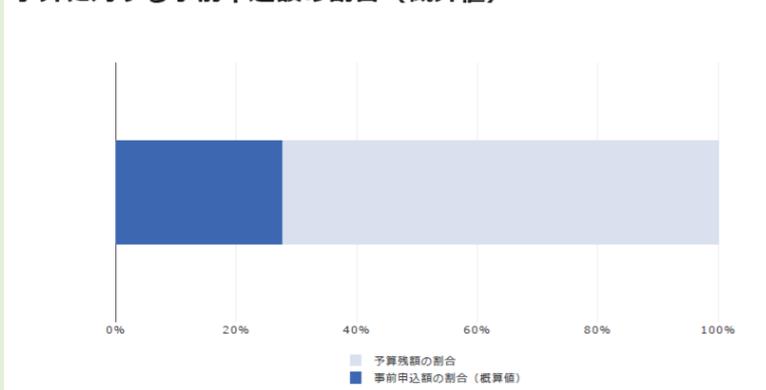
### 【昨年度の課題】 予算到達による受付終了への不安を払拭

（寄せられた声の一例） ・ 申請を考えているが、予算は残っているのか？

・ 予算がなくなったら補助金を受けられないのか？

### 【改善】 予算に対する事前申込額の割合を補助金受付のHPで公開

予算に対する事前申込額の割合（概算値）



- ・ 災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業全体の予算に対する申込額の割合を表示
  - ・ 週次で更新（毎週土曜日23:59に更新）
  - ・ 事前申込概算額が予算額に近づいた際は事前申込の受付を停止
- 予算の状況がわかるので、安心してお申し込みいただけます**

## ② 審査状況の見える化

### 【昨年度の課題】 審査状況が分からないことへの不安を払拭

（寄せられた声の一例） ・ 審査状況を教えてほしい。

・ 申請したのだが、届いているか・受け付けられているかわからない。

### 【改善】 電子申請の確認画面において、審査状況を見える化

審査状況	事前申込受付番号	申請者種別	申請者名
事前申込受付済	1164	法人	
事前申込受付済	1119	個人	
事前申込受付済	13	個人	

事前申込完了メールに記載のURLからマイページにアクセスし、各申請の状況を確認可能

- ①事前申込受付済
- ②交付申請兼実績報告受付済
- ③審査中
- ④修正依頼中
- ⑤交付決定
- ⑥振込完了

**電子申請にご協力いただき、ありがとうございます**

#### 【お問合せ】

申込額（概算値）、事前申込フォームなどはクール・ネット東京ホームページをご参照ください。  
 公益財団法人東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）  
[https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/adiabatic\\_solor-2](https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/adiabatic_solor-2)

## 【省エネ改修に関する税の特例措置】

一定の要件を満たす省エネ改修については、所得税又は固定資産税が一定額控除・減額されます。概要については以下をご確認ください。

国土交通省「省エネ改修に係る所得税額の特別控除」 <https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001487615.pdf>

東京都主税局「省エネ改修工事をした住宅の固定資産税が減額されます - 熱損失防止改修等住宅の減額 -」 <https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shisan/info/shouene.pdf?ver=20230920>

## 受付・相談等

### ○申請受付開始

5月15日

### ○申請受付窓口

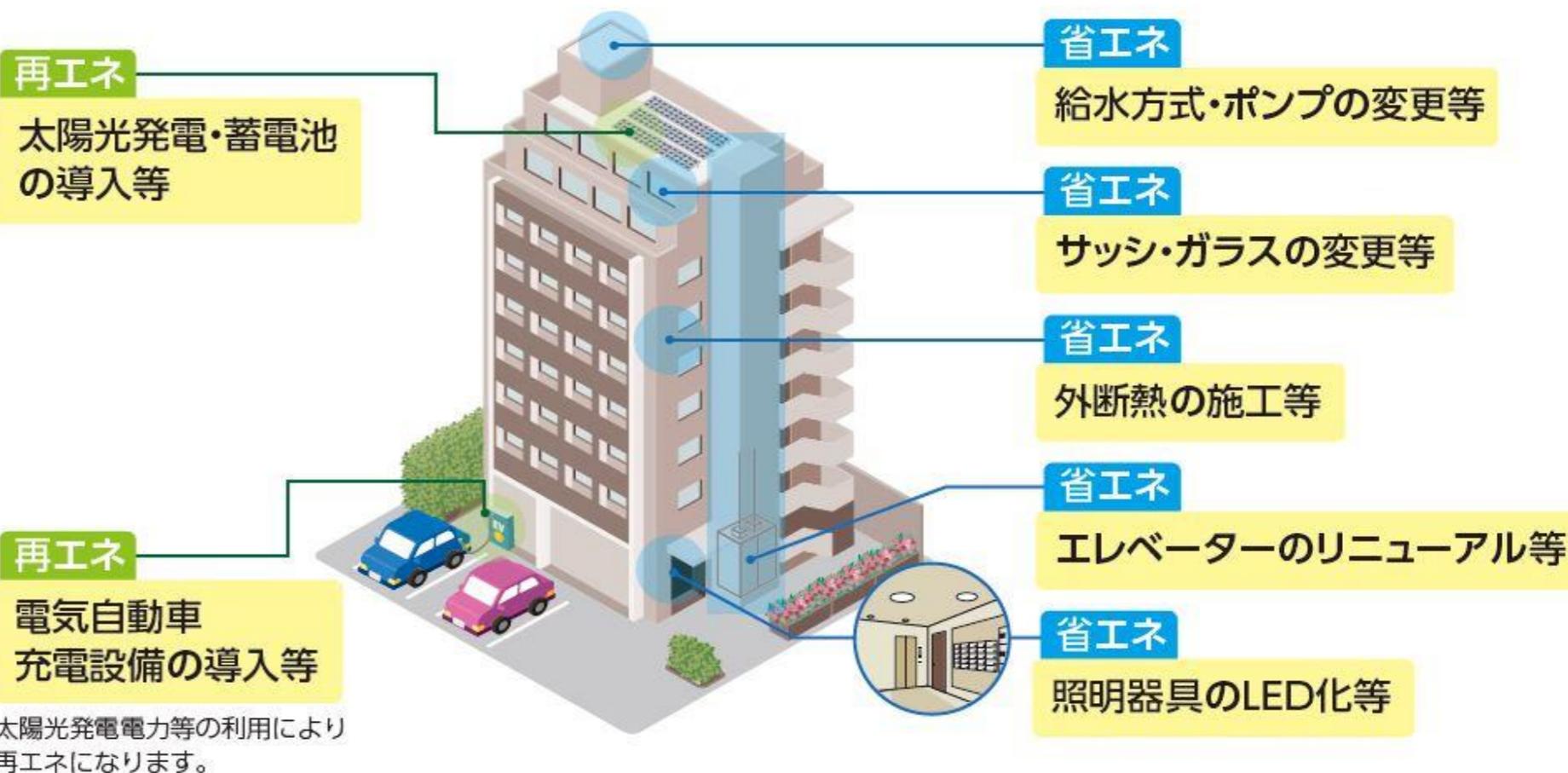
#### 東京都環境公社

東京都地球温暖化防止活動  
推進センター（クールネット東京）

### ○相談窓口・専門家の紹介

#### 東京都建築士事務所協会

プラットフォーム補助活用



マンションの省エネ・再エネの**初期費用と効果**が分かる  
検討に補助※を行います。

※補助率100% 補助上限額内であれば費用負担はありません。

※専門家に検討を委託する費用の補助となります。

分譲マンション管理組合、賃貸マンション所有者の皆様へ

### マンションの省エネ・再エネを検討してみませんか?

省エネ・再エネは、健康維持や光熱費の節約となり、資産価値の向上につながります。大規模修繕は省エネ・再エネを検討する絶好の機会です。

省エネ・再エネの初期費用と効果が分かる検討に補助※を行います。  
 ※補助率100% 補助上限額内であれば費用負担はありません。  
 ※専門家に検討を依頼する費用の補助となります。

合意形成に是非お役立てください  
 事業名：東京都既存マンション省エネ・再エネ促進事業  
 予算がなくなり次第終了します。

東京都住宅政策本部 HTT

【パンフレット（表）】

### 補助概要 ※詳細はHPで要綱等を御確認ください。

マンションの省エネ・再エネに向け、太陽光発電の設置費補助を活用した初期費用や、節約できる電気代等の効果を示す検討を専門家に委託した場合に、都が補助します。  
 省エネ・再エネの検討等は、マンションの管理規約に基づき、専門家に委託することができます。委託する専門家に心当たりがない場合は、下記の「マンション省エネ・再エネ相談窓口」があります。  
 ※専門家：一級建築士、建築設備士、エネルギー管理士等

- 補助率 100%
- 上限額 37万円
- 主な要件
  - 東京都内のマンションであること
  - 申請時から起算して5年以内に屋上防水、外壁（塗装）、建具、給排水、電灯設備、昇降機設備、電気自動車充電設備工事のいずれかの修繕工事等を実施予定のマンション（既存の長期修繕計画または、今後5年間の修繕計画を示した工程表の提出）
  - 建築基準法による確認済証、検査済証、及び確認申請書等の構造が確認できる資料があること
  - 太陽光発電システム及び蓄電池システムの導入を検討すること
  - 省エネ・再エネの検討状況や導入後の効果等について、都への報告に協力すること

●補助対象者 分譲マンション管理組合、賃貸マンション所有者

### 申請に関するお問合せ先・申請書提出先

（公財）東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター（クールネット東京）  
 〒163-0810 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル10階  
 事業の経理や申請方法は、以下のホームページからご確認ください。  
 HP: [https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/mansion\\_kelaku](https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/mansion_kelaku)

### 省エネ・再エネの具体的な相談先・専門家の紹介

■ マンション省エネ・再エネ相談窓口（一社）東京都建築士事務所協会  
 省エネ・再エネの導入や検討に関する相談や申請書作成等に関する専門家を紹介しています。以下のホームページの相談申込フォームから申込みください。  
 HP: <https://taaf.or.jp/consult2/index.html>  
※相談費は、省エネ・再エネ工事費の1割程度を定めます。建築士事務所を指定して依頼する場合は、別途相談料として別途お見積りいたします。本相談窓口は、プラットフォームの構築費として別途お見積りいたします。  
 ※ホームページ開設と修繕費交付は令和5年5月予定

※問合せ先  
 発行：東京都住宅政策本部民間住宅マンション課  
 住所：東京都新宿区西新宿2-8-1 ☎03-5320-5007  
 H P: <https://www.mansion.tokyo.metro.tokyo.lg.jp/sokusin-jigyoku.html>

【パンフレット（裏）】

## 補助概要 ※詳細はHPで要綱等を御確認ください。

マンションの省エネ・再エネに向け、太陽光発電の設置費補助を活用した初期費用や、節約できる電気代等の効果を示す検討を専門家に委託した場合に、都が補助します。

省エネ・再エネの検討等は、マンションの管理規約に基づき、専門家に委託することができます。委託する専門家に心当たりがない場合は、下記の「マンション省エネ・再エネ相談窓口」があります。

※専門家：一級建築士、建築設備士、エネルギー管理士等

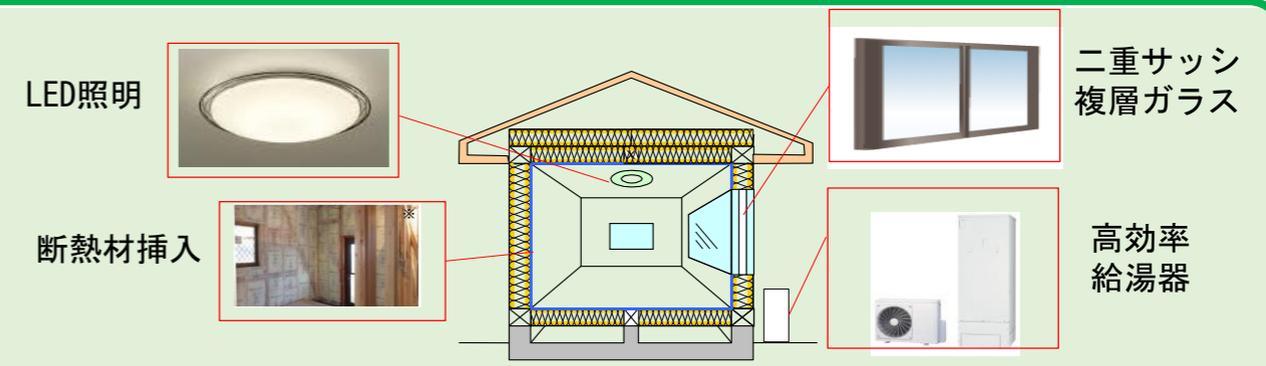
- 補助率 100%
  - 上限額 37万円
  - 主な要件
    - 東京都内のマンションであること
    - 申請時から起算して5年以内に屋上防水、外壁（塗装）、建具、給排水、電灯設備、昇降機設備、電気自動車充電設備工事のいずれかの修繕工事等を実施予定のマンション（既存の長期修繕計画または、今後5年間の修繕計画を示した工程表の提出）
    - 建築基準法による確認済証、検査済証、及び確認申請書等の構造が確認できる資料があること
    - 太陽光発電システム及び蓄電池システムの導入を検討すること
    - 省エネ・再エネの検討状況や導入後の効果等について、都への報告に協力すること
- 補助対象者 分譲マンション管理組合、賃貸マンション所有者

事業概要

都内既存の集合住宅及び戸建住宅において省エネ診断、省エネ設計、省エネ改修工事に補助  
(診断、設計、改修工事は独立して申請可)

事業内容

- 補助対象者：住宅の所有者、マンション管理組合等
- 省エネ診断、省エネ設計  
補助率：2/3
- 省エネ改修（開口部、躯体等の断熱化工事、設備の効率化に係る工事）  
補助率：マンション 1/3、戸建て住宅等 23%  
補助限度額：下表のとおり ※ZEH化に対応するための構造補強を伴う場合



【既存住宅の省エネ改修のイメージ】

建物の種類	省エネ基準適合レベル	ZEHレベル
戸建住宅	766,000円/戸	1,025,000円/戸 ※1,385,000円/戸
共同住宅	3,800円/m <sup>2</sup>	5,000円/m <sup>2</sup> ※8,000円/m <sup>2</sup>
マンション	5,600円/m <sup>2</sup>	7,400円/m <sup>2</sup> ※11,800円/m <sup>2</sup>

※全体改修（BELS評価）または部分改修（仕様規定）  
※開口部の断熱化が必須（部分改修の場合、2か所以上）  
※改修後に耐震性が確保されることが必要

- R5申請受付期間  
令和5年7月24日（月）～  
令和6年1月19日（金）
- R5制度内容のポイント  
**構造補強に係る加算を新規追加**  
(ZEH水準かつBELS取得する改修に限る)  
※ 補助率・主な補助要件等はR4と同様

## 事業概要

プラットフォーム会員団体が行う、省エネ・再エネ住宅普及促進に要する費用の一部を補助

## 事業内容

※営利を主目的とする事業は対象外

○補助対象：右表

○補助率：2/3

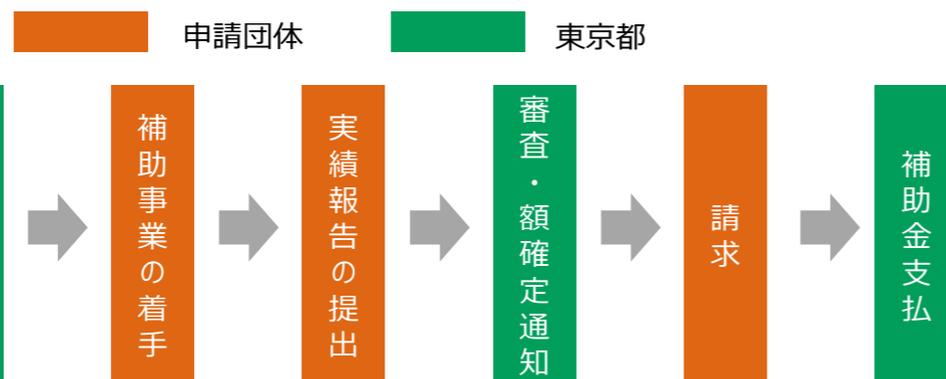
○補助上限額：3,500千円

○申請期間：令和6年1月31日まで

\*申請から交付決定まで1～2週間程度  
(現在、交付決定9団体、事前相談0団体)  
お早目にご相談下さい

補助事業	対象事業 (例)	対象経費 (例)
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー開催</li> <li>パンフレット作成</li> <li>HP作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー開催に要する費用 (講師謝礼・会場借上げ、資料印刷費)</li> <li>パンフレット作成に要する費用</li> <li>HP作成に要する費用</li> </ul>
相談窓口等設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口の設置</li> <li>研修会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談窓口の設置に要する初期費用 (備品の購入費)</li> <li>研修会開催に要する費用</li> </ul>
技術力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術支援講習会 (施工技術、省エネ計算)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術支援講習会に要する費用 (講師謝礼・会場借上げ、資料印刷費)</li> </ul>

### 「申請手続きの流れ」



### 「お問合せ先」

東京都住宅政策本部計画課  
(プラットフォーム事務局)  
電話：03-5320-5458

MAIL：S1090501@section.metro.tokyo.jp

### 「補助金HP」



# 4 事務局連絡

## 説明内容

○令和5年度プラットフォーム活動スケジュール

＊第3回分科会予定12/1（金）10:00～、テーマ：木材利用拡大によるCO2削減

＊冬の省エネ月間 省エネ・再エネ住宅普及啓発イベント

○ジャパンホーム&ビルディングショーへの出展（日本建材・住宅設備産業協会ブース内）

○プラットフォームホームページ更新

- 連絡協議会（全住宅関係団体参加）：情報発信/共有（都の施策、補助金、団体活動など）
- 分科会（活動テーマ毎の希望団体参加）：課題等を協議し連絡協議会で共有
- 11/15～17 ジャパンホーム&ビルディングショー出展（日本建材・住宅設備産業協会ブース内）

	令和5年 4月～6月	7月～9月	10～12月	令和6年 1月～3月	
会議体	<p>* 想定都議会日程 → ◎6/1～21</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● (第1回) <b>連絡協議会</b> 5/15(月)13:30～ 第一庁舎5階 大会議場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (第1回) <b>分科会</b></li> <li>● (第2回) <b>分科会</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎9/20～10/7</li> <li>● (第2回) <b>連絡協議会</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎12/1～15</li> <li>● (第3回) <b>連絡協議会</b> 11/10</li> <li>● (第3回) <b>分科会</b> 12/1</li> <li>☆11/15～17 ジャパンホーム&amp;ビルディングショー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎2/15～3/24</li> <li>● (第4回) <b>連絡協議会</b> 1/26 (or 2/2)</li> <li>● (第4回) <b>分科会</b></li> <li>☆2月 冬の省エネ月間イベント</li> </ul>
主な活動内容	メルマガ配信（概ね月1回） / 10月ホームページ部分更新 (通信連絡フォーム追加、リフォーム事例/団体活動紹介充実)				
	普及促進事業補助金 各団体：普及啓発、相談窓口の設置、技術力向上に関する取組支援				
	夏季の省エネ 普及啓発 HTT施策周知（ピークカット等）		冬季の省エネ 普及啓発 住生活月間等イベント（パネル展示、相談会想定）		
	プラットフォーム第3回連絡協議会 (R5.11.10)				

## 令和4年度第4回分科会で決定した今年度の分科会テーマ

NO	テーマ名	
1	<p>省エネ・再エネ住宅普及についての課題整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸建てと集合住宅、新築と既存改修、それぞれの分野での課題抽出(既存住宅向けの再エネ等)</li> <li>および対策についての意見交換</li> </ul>	第1、2回 分科会 実施済み
2	<p>木材利用拡大によるCO2削減(「木」はCO2吸収と固定する素材)の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林において「伐って、使って、植える」という循環利用を確立し若返り(CO2吸収量向上)に寄与</li> <li>・木の良さ(調湿、断熱性や衝撃に対する安全性、目にやさしく音をまろやかにする等健康に良い効果)の情報発信</li> </ul> <p>12月1日(金) 10:00から WEB開催</p>	第3回 分科会
3	<p>安全性(耐震性)も満足した省エネ再エネ改修のあり方検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓改修や太陽光発電設置にあたっては、既設建物の耐震性の確保が重要</li> <li>知識不足のケースでは建物の重量化に伴う構造上のリスクについて認識を深めることがポイント</li> <li>対策案:解析ソフトでのケーススタディ実施とその勉強会の開催、HP等での情報共有</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">改修内容を適切に理解した上での補助金活用につなげる</p>	第4回 分科会
4	<p>消費者への効果的な普及促進策検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラットフォーム事業者が共通で使える消費者向け説明フォーマット作成</li> <li>・効果的な広報(コンテンツやツール)について意見交換</li> </ul>	「省エネ・再エネ住宅のすすめ」 をブラッシュアップ予定

目的：戸建の消費者向けに省エネ・再エネ住宅の普及啓発を実施（東京西部多摩方面）

日付：2024年2月2日(金)、3日(土)

場所：イオンモールむさし村山、ショッピングモールに来店される消費者  
 （平日25千人/日、休日45千人/日が来場）

要件：イベントスペースの面積150㎡、集客能力の高い施設  
 屋外に高断熱住宅模擬体感スペース確保（トレーラーボックス2台平面駐車場）

概要：

イベント内容

場所

- ・各団体の取組み紹介ブース（相談テーブル付帯）
- ・戸建住宅モックアップ/工作教室、都の補助施策紹介コーナー
- ・外部において断熱住宅の模擬体感（トレーラーボックス）  
 ＊冬の寒さに対する断熱性能の効果（メリット）を家族で体感してもらう

センターコート  
（屋内）

西側平面駐車場  
（屋外）

工夫：イベント集客のため平日は「工芸教室」休日は「バルーンアート」を企画

＊人が多く集まることにより参加型イベントの雰囲気づくり、休日は子供に注力

# 屋内イベントスペース (センターコート150m<sup>2</sup>)

## ◇センターコートの什器レイアウト (案)

**A** : 各団体の取組み紹介ブース (相談テーブル付帯)

**B** : 戸建住宅モックアップ、工作教室

**C** : 都の補助施策紹介コーナー



# 屋外断熱体感スペース拡大 (平面駐車場)

参加者動線

出入口  
(階段)

トレーラーボックス  
(標準仕様)

トレーラーボックス  
(高断熱仕様)

牽引車切り返し  
スペース

2日間借用スペース案

借用スペース

駐車場写真 (現状)



★店内エントランス  
(⇒至センターコート)



プラットフォーム第3回連絡協議会 (R5.11.10)

日本建材・住宅設備産業協会のブース（番号1-Y08）内で、都のパネル・チラシを設置

## ご案内状

ワンストップで、出会える。  
**建築+インテリアWEEK**

全国から建築のプロが集まる、業界の最新トレンドがわかる  
日本最大級の建築に関する製品・サービス・情報に  
出会える展示会

今年で

# 45

周年

# Japan Home & Building Show 2023

**第45回 ジャパンホームショー**

- 住宅防災ゾーン
- リフォーム・リノベーションゾーン
- エクステリアゾーン
- 建材・部材ゾーン
- カーボンニュートラル関連ゾーン
- 住宅設備・システムゾーン
- IoT・デジタル技術ゾーン
- 家具・インテリア・デザイン設備ゾーン
- BIM・CAD・ソフトウェア・業務サポートゾーン

**第18回 ふるさと建材・家具見本市**

**第9回 店舗・商業空間デザイン展**

**第7回 団地・マンションリノベーション総合展**

フロール・イノベーション2023

**第9回 トイレ産業展**

**第6回 イノベーションオフィス総合展**

**第2回 リノベ展**

Stone Fair Tokyo 2023

会期 | **2023年11月15日** 水 ▶ **17日** 金 10:00~17:00

会場 | **東京ビッグサイト** 東展示棟 主催 | **JMA** 一般社団法人日本能率協会

共催 | 一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 一般社団法人リビングアメニティ協会  
一般社団法人住宅生産団体連合会 公益社団法人日本建築家協会

後援 | 外務省 経済産業省 国土交通省 林野庁 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)  
独立行政法人住宅金融支援機構(順不同)

最新情報・来場事前登録はコチラから <https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/> ジャパンホームショー 検索



### 合同開催展

**JAPANTEX 2023**

**第8回 アジア・ファニシング・フェア 2023**

**ビルメン・ヒューマンフェア**  
**8 クリーンEXPO 2023**

**第25回 不動産リノベーションフェア**

**第56回 2023 建築設備技術会議 (会議棟)**

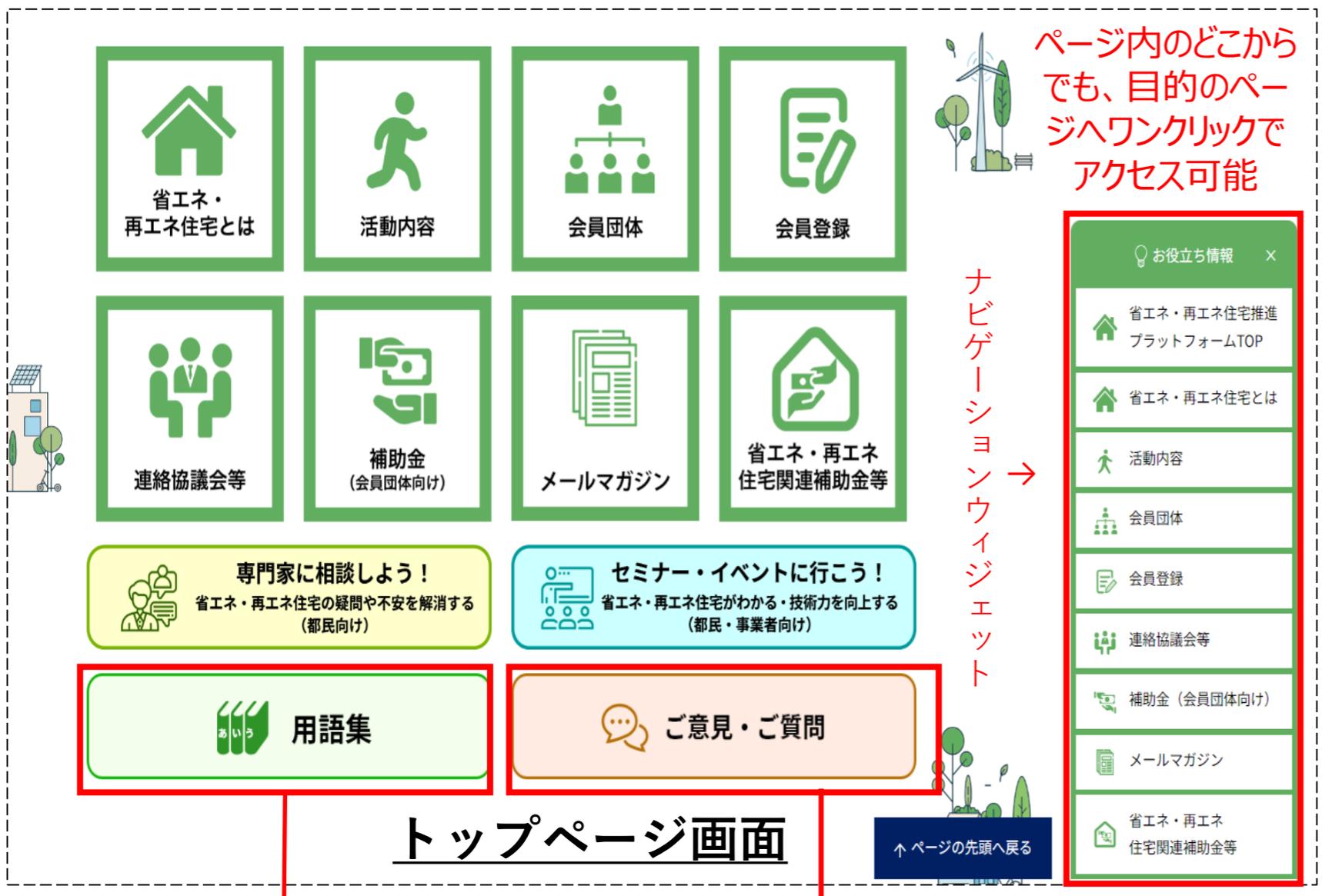
### 来場についての問い合わせ先

日本能率協会展示会 来場者ヘルプデスク (株式会社ケイ・スリー・クリエーション)  
受付時間: 09:30~18:00 (土日祝は除く) 電話: 03-6809-2707 e-mail: helpdesk@k3c.co.jp

## ◇用語集、ご意見・ご質問フォーム、ナビゲーションウィジェットを追加、他コンテンツ更新

(凡例：□ 追加箇所)

省エネ・再エネに関する専門用語のサポート



### 用語集

あ行

う

**内断熱工法**  
鉄筋コンクリート造等の構造体の室内側に断熱層を設ける工法。

**内張断熱工法**  
木造または鉄骨造の構造体の室内側に断熱層を設ける工法。

→ あ行  
→ か行  
→ さ行  
→ た行  
→ な行  
→ は行

多くの方の気づきを募集

### 東京都 省エネ・再エネ住宅推進プラットフォーム

#### ご意見・ご質問

東京都省エネ・再エネ住宅推進プラットフォームでは、皆様からのご意見・ご質問をお待ちしております。当プラットフォームに対するご意見等がございましたら、以下のフォームからご送信ください。

[ご意見・ご質問フォーム](#)

トップページ画面